

血管腫外来のご案内



乳児血管腫(にゅうじけっかんしゅ)とは

- ✓ 生後1～4週間頃から徐々に出現する皮膚の「赤あざ」の1つです。皮膚から盛り上がるタイプが多く、見た目から「いちご状血管腫  」とも呼ばれます。
- ✓ 生後6～12か月にかけて大きくなり、5～10歳までに自然に消退することが多いです。体のどこにでもできる可能性がありますが、頭や顔など首から上に多いです。数mmの小さなものから、10cm以上の大きなものもあります。
- ✓ 以前は特に治療せず、経過をみられることが多かった病気です。しかし近年では、自然消退後の皮膚の「たるみ」や「しわ」「あと」が整容的に良くないため、早期に治療を開始することが多くなってきています。

治療法について

- ① 経過観察
- ② 飲み薬による治療法 (β遮断薬など)
- ③ 上記以外の治療法 (レーザー照射、手術など)



それぞれのお子さんに適切な治療方法を提案させていただきます

※2021年4月現在当院では、レーザー照射による治療は行っておりません。

レーザー治療が必要と判断される患者様には近隣医療機関をご紹介します。